

News Release

報道各社各位

2015年 3月30日
名古屋大学医学部附属病院
株式会社日本アルトマーク

名古屋大学医学部附属病院が地域医療提供体制強化に向けて 日本アルトマーク社のメディカルデータベースを導入

名古屋大学医学部附属病院（所在地：愛知県名古屋市、病院長：石黒直樹、病床数：1035床、以下名大病院）は、平成27年3月より、株式会社日本アルトマーク（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：平野浩治：以下（株）日本アルトマーク）が構築したメディカルデータベース（以下「MDB」）を導入しました。

団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要がこれまで以上に増加することは必至であり、厚生労働省においても高齢者の尊厳の保持、自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で過ごすことができるよう、地域の包括的な医療支援・サービス提供体制の構築が推進されています。そのためには、一病院で治療を完結するのではなく、地域の医療機関や介護施設等との連携による地域包括ケアが重要になってきます。

名大病院では、このような社会的な課題に応えるため、地域医療機関との緊密な連携に取り組んでいるところであり、（株）日本アルトマークのMDBは、連携先やこれから連携を図る施設との橋渡しにとって重要なツールと考えています。

名大病院では今後MDBを活用し、患者さんのニーズにあった転院先の紹介を始め、愛知県内の医療需給の調査を行い、質の高い地域医療計画を地元自治体に提案すること等を検討しています。

※メディカルデータベース（MDB）は、全国の病院（8,518件）、診療所（103,093件）、介護老人福祉施設（50,940件）等の施設情報を収録した（株）日本アルトマーク独自の医療データベースです。（ ）内の数字は2015年2月末日現在の数値です。

本件問い合わせ先

名古屋大学医学部附属病院（担当：武内）052-744-2877

（株）日本アルトマーク 03-3249-8232